

Title	表紙、プログラム、奥付
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 31
Issue Date	2016-11-05
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/13855
Rights	本著作物は研究・イノベーション学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Research Policy and Innovation Management.
Description	

講演要旨集

研究・イノベーション学会

第31回 年次学術大会

2016.11.5～6 東京

第 31 回 年 次 学 術 大 会

講 演 要 旨 集

2016 年 11 月 5 日（土）～ 6 日（日）

青山学院大学 青山キャンパス

東京都渋谷区渋谷 4-4-25 〒 150-8366

研究・イノベーション学会

Japan Society for Research Policy and Innovation Management

一般講演要旨集

11月5日(土) 9:30~10:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
	一般講演 〈特定ホット 이슈〉 イノベーションの PDCA①	一般講演 〈ホット 이슈〉 イノベーションと地域 創生①	一般講演 〈ホット 이슈〉 責任ある研究・イノ ベーションの日本的 展開	一般講演 〈ホット 이슈〉 イノベーション推進の ための指標の構築と 活用	一般講演 人材	一般講演 〈ホット 이슈〉 製造業のサービス化	一般講演 分析と評価①	一般講演 研究・イノベーション 政策①	一般講演 産官学連携・地域①	一般講演 技術経営(戦略・R&D マネジメント)①
	座長 金間 大介	座長 大槻 眞一	座長 伊藤 裕子	座長 伊神 正貴	座長 松尾 敬子	座長 加納 信吾	座長 前田 知子	座長 斎藤 尚樹	座長 山口 佳和	座長 小沼 良直
9:30		1B01 イノベーション と地域創生 ○大槻眞一(阪 南大), 山崎宏 之(ダイコ ク), 西原一嘉 (大阪電通大)	1C01 社会問題解決の ためのエコシス テムと研究コ ミュニティの役 割 ○田原敬一郎, 白根純人(未来 工研), 工藤 充, 八木絵香 (阪大)	1D01 環境制約の悪化 と生活における 価値観の変化に 基づくビジネス 創出手法 ○川瀬徳泰, 古 川柳蔵(東北 大)	1E01 ハッカソンによ るイノベーター 発掘の試み— JPHACKSの活動— ○木戸冬子(東 大)	1F01 三浦工業ボイラ 事業の「本体・ メンテナンスモ デル」—事例を 通じた製造業の サービス化に関 する一考察①— ○瀬川丈史, 妹 尾堅一郎, 伊澤 久美(産学連携 推進機構)	1G01 米国における基 礎研究活動に対 する評価の諸相 —国立科学財団 (NSF)を中心— ○遠藤 悟(日 本学術振興会)	1H01 共同研究開発に おけるコーデ ィネーターの属性 について ○長田基幸(一 橋大)	1I01 海外の大学・研 究機関における 産学連携機能に ついて① 事例 調査総論 ○川島 啓, 五 十嵐美香(日本 経済研), 依田 達郎, 大竹裕之 (未来工研)	1J01 企業における社 会的責任とイノ ベーション戦略 ○高 玲(亜細 亜大)
9:45	1A02 政策バリュー チェーンにおける 媒介組織・機能 の変遷 ○林 裕子(山 口大), 加納信 吾(東大)	1B02 大阪イノベー ションハブと地 域創成 ○吉川正晃(大 阪市)	1C02 大学とイノベー ションとの相関 からみる責任あ る産学連携につ いての一考察 ○桑島修一郎 (京大)	1D02 発表中止	1E02 キュリー夫人か ら学ぶ人材育成 ○吉祥瑞枝(東 京理科大)	1F02 栗田工業におけ る「オンサイト プロダクション モデル」—事例 を通じた製造業 のサービス化に 関する一考察② — ○丸島和也, 妹 尾堅一郎, 伊澤 久美(産学連携 推進機構), 久 保恵美(三菱レ イオン)	1G02 英国の大学評価 REFにおける インパクト創出 プロセスの研究 ○小林直人, 島 岡未来子, 古賀 康之(早大), Lily Yu, John Higginson (DART Partners)	1H02 発表中止	1I02 海外の大学・研 究機関における 産学連携機能に ついて② 事例 調査:ハーバ ード大学 ○五十嵐美香, 川島 啓(日本 経済研), 依田 達郎, 大竹裕之 (未来工研)	1J02 CSR活動が財務パ フォーマンスに 与える影響に関 する一考察 ○日比彰悟, 梶 山朋子, 大内紀 知(青学大)
10:00	1A03 支援項目の逐次 の最適化を通じ た支援制度の持 続的展開 戦略 的基盤技術高度 化支援事業(サ ボイン事業)の 事例から ○楠田真之, 高 倉秀和(中小企 業庁), 後藤芳 一(東大)	1B03 地域創生を目指 すベンチャー支 援の取り組み事 例について— トーマツベン チャーサポート の事例紹介— ○権 基哲 (トーマツベン チャーサポー ト)	1C03 テクノロジーア セスメントを教 えるということ ○吉澤 剛, 谷 口武俊(東大)	1D03 学術論文への国 際特許分類 (IPC)付与によ る産学連携の検 討 ○開本 亮(神 戸大), 難波英 嗣(広島市立 大)	1E03 後期中等教育と 高等教育の連携 に関する研究 ○若月 聡(日 大/東邦大), 若月温美(東葉 高校)	1F03 月島機械(株) の水環境事業に おける「ライフ サイクルモデル 」—事例を通 じた製造業の サービス化に関 する一考察③— ○上野洋和, 妹 尾堅一郎, 伊澤 久美(産学連携 推進機構)	1G03 英国の大学評価 REFにおける 研究インパク ト:人文社会科 学系研究の事例 ○島岡未来子, 小林直人, 古賀 康之(早大), Lily Yu, John Higginson (DART Partners)	1H03 産学官スピル オーバーと企業 の特許出願行動 ○枝村一磨 (NISTEP)	1I03 海外の大学・研 究機関における 産学連携機能に ついて③ 事例 調査:メリーラ ンド大学カレッ ジパーク校 ○五十嵐美香, 川島 啓(日本 経済研), 依田 達郎, 大竹裕之 (未来工研)	1J03 CEO特性が創業か らIPOまでの期間 に与える影響 ○旭井亮一

10:15

11月5日(土) 10:15~10:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
10:15	<p>1A04 次世代研究基盤戦略を見越した共用実績データマネジメントの試行 ○阿部真育, 江端新吾(北大)</p>	<p>1B04 国産中低品質無垢材による大スパン建築等の開発—木構造開発に関するイノベーション/森林経済工学研究所の取り組み— ○今井克彦(森林経済工学研究所), 宮原浩維(阪大)</p>	<p>1C04 社会的ライフサイクルから見るオーファンドラッグの研究開発と患者参画 ○吉澤 剛(阪大), 西村由希子(東大)</p>	<p>1D04 研究活動を支援する技術系人材の活動成果分析 ○根本正博(日本原子力研究開発機構)</p>	<p>1E04 初等教育段階から高等教育にかけての人材育成支援に関する研究 ○若月 聡(日大/東邦大/天文教育普及研究会)</p>	<p>1F04 クマヒラグループのセキュリティ事業における「モノのサービス武装」—事例を通じた製造業のサービス化に関する一考察④— ○関本奈菜子, 妹尾堅一郎, 伊澤久美(産学連携推進機構), 伊藤宏比古(NEC)</p>	<p>1G04 Novel Applications of Data Analytics to Higher Education ○Lily Yu (DART Partners), Mikiko Shimaoka, Yasuyuki Koga (Waseda Univ.), Azusa Tanaka (Univ. of Bath), Naoto Kobayashi (Waseda Univ.), John Higginson (DART Partners)</p>	<p>1H04 破壊的イノベーションとイノベーションのシステムの間の微妙な関係: 日本企業を事例として ○三藤利雄(立命館大)</p>	<p>1I04 海外の大学・研究機関における産学連携機能について④—事例調査: カリフォルニア工科大学 ○依田達郎(未来工研), 五十嵐美香, 川島啓(日本経済研), 大竹裕之(未来工研)</p>	<p>1J04 日本企業の経営成果に影響を与える要因分析—サーベイデータによる実証研究— ○小久保欣哉(野村総研)</p>
10:30	<p>1A05 北海道大学における機器共用政策と研究基盤戦略—グローバルファシリティセンター構想— ○江端新吾, 網塚 浩, 上原宏充, 阿部真育(北大)</p>	<p>1B05 産学連携の変革に必要な地域人材の研究 ○中西光彦(姫路企業), 伊佐田文彦(関西大)</p>	<p>1C05 グリーンイノベーションに向けた蓄電池研究開発の動向 ○桐山恵理子(JST)</p>	<p>1D05 第5期科学技術基本計画によって設定された主要指標の今後の見通しについての考察 ○富澤宏之(NISTEP)</p>	<p>1E05 女性博士のキャリア構築と家族形成 ○小林淑恵(NISTEP)</p>	<p>1F05 ホギメディカルにおける「サービス・消耗品モデル」—事例を通じた製造業のサービス化に関する一考察⑤— ○高橋耕二, 妹尾堅一郎, 伊澤久美(産学連携推進機構)</p>	<p>1G05 日本の基礎研究力の国際的地位低下の要因は何か? ○新井聖子(ウプサラ大/政研大)</p>	<p>1H05 ノーベル賞と科学技術イノベーション政策—選考プロセスと受賞者のキャリア分析 ○原 泰史(政研大), 赤池伸一(NISTEP), 中島沙由香(東工大), 篠原千枝, 内野 隆(文科省)</p>	<p>1I05 産学連携を用いたB to Bビジネスへの参入 ○能見利彦(経産省)</p>	<p>1J05 産業大転換期における勝ち続ける好業績の経営戦略と構造とは ○旭岡叡峻(社会インフラ研究センター)</p>

10:45

11月5日(土) 10:45～11:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
10:45	1A06 新事業開発のプログラムにおける営業と技術による相互作用的仮説検証プロセスの有用性に関する調査研究 ○笠原英一(立教大), 原島なほみ, 中島成晃(アジア太平洋マーケティング研究所)	1B06 地域経済活性化におけるツーリズムのイノベーション ○藍木 秀(タイケイ), 伊佐田彦彦(関西大)	1C06 科学技術イノベーションと社会の関わりをいかに測るか ○岡村麻子(政研大)	1D06 第5期科学技術基本計画期間中における我が国の科学技術イノベーションの状況変化の定性的な把握に向けて—第3期NISTEP定点調査の実施に向けた調査設計— ○村上昭義, 伊神正貫(NISTEP)	1E06 大学等における研究関連求人への推移 ○川島浩誉(NISTEP), 山下泰弘, 川井千香子(JST)	1F06 ブリヂストン業務用タイヤ事業への「サービスビジネスモデル」適用—事例を通じた製造業のサービス化に関する一考察⑥— ○大沼妙子, 妹尾堅一郎, 伊澤久美, 瀬川丈史(産学連携推進機構)	1G06 大学教員の職務時間調査についての考察—本当に教育時間は増加し、研究時間は減少したのか? ○新井聖子(ウブサラ大/政研大)	1H06 トップレベル研究者に対する横断的科学技術政策のネットワーク分析による評価 ○田中和哉(東大/政研大), 坂田一郎(東大)	1I06 大学における支援人材の業務分析と組織再構築に向けた提言 ○西川洋行(県立広島大)	1J06 発表中止
11:00	1A07 プロジェクトマネジメント指向の社会イノベーション支援制度の設計 JST「戦略的国際共同研究プログラム(日ロスウェーデン高齢対応)」を事例として ○後藤芳一(東大), 仲大地, 久永幸博(JST)	1B07 農林水産業系公設試験研究機関における地場産業への貢献事例の分析 ○小林俊哉, 永田晃也(九大)	1C07 責任ある研究・イノベーションのためのプロジェクトマネジメント—NEDO PJを事例に— ○藤本翔一(NEDO), 吉澤剛(阪大)	1D07 討論	1E07 “多能工型”研究支援人材育成コンソーシアム事業におけるURAの評価から見てきたこと ○伊藤正実(群馬大)	1F07 「製造業のサービスモデル化」の基本パターン—事例を通じた製造業のサービス化に関する一考察⑦— ○妹尾堅一郎, 伊澤久美(産学連携推進機構)	1G07 コンソーシアム型国家プロジェクトにおけるフォローアッププロジェクトを成功に導くためのマネジメントのあり方— ○一色俊之, 加藤知彦(NEDO)	1H07 海外トップ大学の研究経営の動向 ○高谷 徹(三菱総研)	1I07 大学・研究機関と中小企業の連携を実現するプラットフォーム ○永井明彦(筑波大)	1J07 インダストリー4.0を商機とするドイツのHidden Championの新たな挑戦 ○難波正憲, 福谷正信, 牧田正裕, 藤本武士(立命館アジア太平洋大)
11:15	1A08 教育のイノベーションに関する一考察(4)—“主体的・対話的な深い学び”実現?— ○小粥幹夫(日本経済大)	1B08 地方創生に向けた科学技術イノベーション政策の新たな展開に関する考察 ○岡本信司(文科省)	1C08 自然科学系学会におけるRRI活動に関する基礎調査 ○吉澤 剛(阪大), 上田昌文(市民科学研究室), 標葉隆馬(成城大), 中尾 央(山口大), 川本思心(北大)		1E08 技術専門職実態調査から見える大学等の研究基盤を支えるイノベーション人材に関する状況と課題 ○江端新吾(北大), 中川尚志(JST)	1F08 討論	1G08 NEDOプロジェクト終了後の研究開発の中止・中断及び再開事例に関する研究 ○功刀 基, 一色俊之, 徳岡麻比古(NEDO)	1H08 「インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト」の取り組みについて ○山口晋平(NEDO)	1I08 海外企業との産学連携 ○鈴木真也(武蔵大)	1J08 イノベーションに影響を与える消費者特性の傾向 ○難波和秀(高知工大)

11:30

11月5日(土) 11:30～11:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:30	1A09 討論	1B09 討論	1C09 討論				1G09 科学技術に関する国民意識調査 —熊本地震— ○細坪護孝 (NISTEP)		1I09 産業クラスター計画に関する考察 ○佐脇政孝 (産総研)	1J09 途上国・新興国における特許関連訴訟の分析 ○三森八重子 (阪大)

11:45

11月5日(土) 12:00～12:30

各分科会活動報告等

A会場 (3階 17309教室)

11月5日(土) 14:00～17:30

シンポジウム

A会場 (3階 17309教室)

「グローバル・イノベーションにおける技術ブランディング戦略」

11月5日(土) 12:30～12:50

総会

A会場 (3階 17309教室)

主催者挨拶

永野 博 (本学会会長)
菊池 純一 (本学会副会長)

11月5日(土) 12:50～13:15

会長講演

A会場 (3階 17309教室)

基調セッティング1

日本の技術ブランド戦略はいかにあるべきか

古川 一夫 (NEDO理事長)

11月5日(土) 13:15～13:50

学会賞・論文賞 表彰式, 表彰者講演

A会場 (3階 17309教室)

基調セッティング2

グローバル・イノベーションの再点検、そして、何をなすべきか

江村 克己 (日本電気株式会社取締役執行役員常務)

パネルディスカッション

モデレーター 小林 直人 (本学会副会長)

パネリスト

変革の時代に求められる重荷

木全 政弘 (三菱電機株式会社知的財産センター長)

研究開発プロジェクトのデザインの役割

佐藤 嘉晃 (NEDO理事)

技術ブランディングの盲点

吉栖 康浩 (一般財団法人知的資産活用センター理事)

11月5日(土) 18:00～20:00

懇親会

青学会館 (2階 ミルトス)

11月6日(日) 9:30~10:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
	〈特定ホット 이슈〉 イノベーションの PDCA	一般講演 〈ホット 이슈〉 イノベーションと地域 創生② 座長 西尾好司	APU-NEXT企画: ドイツ・セッション 「ドイツに学ぶ科学技術 政策がもたらすイノ ベーションとマネジメ ント」		一般講演 〈ホット 이슈〉 Society 5.0を示唆す る先進事例 座長 佐藤 靖	一般講演 技術経営(事例・ビジ ネスモデル・事業化) ① 座長 内平直志	一般講演 〈ホット 이슈〉 人文・社会科学と自 然科学の連携を進め るために 座長 川島 啓	一般講演 研究・イノベーション 政策② 座長 赤池伸一	一般講演 技術経営(戦略・R&D マネジメント)② 座長 勝本雅和	一般講演 技術経営(戦略・R&D マネジメント)③ 座長 西村陽一郎
9:30	趣意等の説明 ○菊池純一(青 学大) 基調講演 府省・分野の壁 を超えたSIPの取 り組みを踏まえ て ○竹上嗣郎(経 産省)	2B01 N次産業化に関 する考察 ○谷口邦彦	ドイツ企業と国 際戦略 ○牧田正裕(立 命館アジア太平 洋大) ドイツに学ぶ科 学技術政策 ○永野 博(慶 大/研究・イノ ベーション学会 会長) 中小企業のグ ローバル展開— 日独比較— ○岩本晃一(経 済産業研)		2E01 将来社会におけ る労働と所得の 変化に関する考 察 ○奥和田久美 (NISTEP)	2F01 季節性需要拡大 に対する設備投 資あるいは臨時 人員増加による 能力拡張決定に 関するリアル・ オプション・ア プローチについ て ○久米克典, 藤 原孝男(豊橋技 科大)	2G01 サイエンス型産 業における持続 的発展の研究: 「知識と人」産 学循環モデルの システム構造 ○飯嶋秀樹, 中 田喜文(同志社 大)	2H01 学会や論文から 見た研究者(研 究開発人材)規 模の把握につい て ○島津博基, 中 山智弘(JST)	2I01 非連続な技術変 化に対応するイ ノベーション戦 略—日本の製薬 企業による実証 分析— ○小久保欣哉 (野村総研)	2J01 知識移転が阻害 する知識活用— オープンイノ ベーションにお ける定性研究— ○舟津昌平, 梶 山泰生(京大)
9:45		2B02 地域発イノベー ション創出の PDCA:産総研地 域センターの取 り組みを事例に して ○中村 修(産 総研)	German Mittelstand ○BEISE-ZEE Marian(立命館 アジア太平洋 大) グローバル・ ニッチトップの 事業戦略1 ○藤本武士(立 命館アジア太平 洋大)		2E02 超スマート社会 を具現化するた めの一方策 ○城村麻理子, 鈴木 浩(日本 経済大)	2F02 企業における ニュース情報と 株価の関係性 について ○野村真規, 岩 本 隆(慶 大), 酒井光郎 (ベクトル)	2G02 知識産業革命期 のキー技術とし ての「KT」新 時代の幕開け— 情物一致戦略時 代に「IT」は もう古い— ○旭岡叡峻(社 会インフラ研究 センター)	2H02 論文情報の分析 による電界効果 トランジスタ分 野の分析 ○藤末智夏, 坂 田一郎(東大)	2I02 研究開発パイプ ライン分析によ る製薬企業の研 究生産性に関する 考察 ○牛山文仁, 内 平直志(北陸先 端大)	2J02 日本企業におけ るオープン・イ ノベーションへ の取組状況と課 題 ○小沼良直, 林 隆臣(未来工 研)
10:00		2B03 研究開発型ベン チャーが紡ぐ地 方創生モデルの 可能性と態様 について—NEDO 事業採択ベン チャーの事例よ り ○橋詰忠明 (NEDO)			2E03 シェアリングエ コノミーと Society5.0 — Society5.0世界 へのプラットフォーム 理論からのアプローチ — ○高橋 浩(北 陸先端大)	2F03 製品ライフサイ クルと関連技術 需要の変容要因 分析 ○藤 祐司(東 工大), 永松陽 明(横浜市立 大)	2G03 科学技術イノ ベーションと人 文・社会科学II —連携方策の検 討と関連する先 行事例 ○前田知子, 伊 藤哲也, 治部眞 里, 日紫喜豊, 黒田昌裕, 有本 建男(JST)	2H03 科学技術基本計 画のテキストマ イニング分析と 研究、イノベー ションの位置付 け ○山口佳和(千 葉工大)	2I03 先端医療の薬事 規制における ルール・オブ・ ルールに関する 研究 ○加納信吾(東 大)	2J03 規制が企業の研 究開発活動やイ ノベーションに 与える影響 ○小沼良直, 林 隆臣, 今村 努 (未来工研), 隅藏康一(政研 大/NISTEP), 古澤陽子(東大 /NISTEP), 枝 村一磨 (NISTEP)

10:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
10:15	<p>特定ホットイシュー続き</p> <p>事例報告 METI追跡調査結果に基づく報告 ○横田英樹(経産省)</p> <p>事例報告 NEDO追跡調査結果に基づく報告 ○一色俊之(NEDO)</p> <p>事例報告 海外の公的ファンディング機関における最新の取組 ○田原敬一郎(未来工研)</p>	<p>2B04 中小企業のイノベーション創出への公的支援に関する一考 ○林 聖子(亜細亜大)</p> <p>Global Niche Marketing ○ALCANTARA Lailani Laynesa(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>企画セッション 続き</p> <p>日本とドイツ企業のM&Aについて ○RalF BEBENROTH(神戸大)</p> <p>Global Niche Marketing ○ALCANTARA Lailani Laynesa(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>JWSE企画セッション① 「女性エンジニア・研究者の挑戦と展望」</p> <p>司会 吉祥瑞枝</p> <p>挨拶 ○武田康嗣(本学会元会長/日立工機名誉相談役) ○菊池純一(大学実行委員長/青学大)</p> <p>基調講演 科学・技術と企業活動—エンジニアに求められるもの ○佐藤順一(JST研究開発戦略センター上席フェロー)</p> <p>パネル討論 ○杉田 清(日本工学会アカデミー/元新日鉄) ○飯村亜紀子(経産省) ○橋本久義(政研大名誉教授)</p>	<p>2E04 Bluetooth Smart 発信機を用いた高齢者見守り機構「見守りプラス」の研究 ○永井明彦(筑波大), 岩田 彰, クグレ・マウリシオ(名工大)</p>	<p>2F04 保守部品におけるサードパーティーに関する研究 ○永松陽明(横浜市立大), 藤祐司(東工大)</p>	<p>2G04 センサーオブイノベーション(COI)プログラムにおける異分野融合とイノベーションマネジメントの実践事例 ○安西智宏, 木村絃子(東大), 佐藤正晃(ナノ医療イノベーションセンター), 仙石慎太郎(東工大), 木村廣道(東大)</p>	<p>2H04 技術予測で重要度の高い課題に関する科学技術白書の施策の推移 ○岸本晃彦, 横尾淑子, 赤池伸一, 富澤宏之(NISTEP)</p>	<p>2I04 業事規制と技術標準のリンク—ジ解析—次世代医療機器評価指標を事例に— ○木戸 舞, 加納信吾(東大)</p>	<p>2J04 日本製造企業の研究開発投資・設備投資と収益性の実証分析 ○玄場公規(法政大), 竹岡紫陽(立命館大), 今橋裕, 上西啓介(阪大)</p>
10:30		<p>2B05 中小ものづくり企業のイノベーションを通じた地域創生策 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)の成果をめぐる事例研究 ○後藤芳一(東大), 楠田真之, 高倉秀和(中小企業庁)</p>			<p>2E05 AIによる自動車産業の変革の方向 ○中村吉明(産総研)</p>	<p>2F05 携帯電話におけるガラパゴス現象の顕在化過程に関する分析 ○篠原聡兵衛(東大/KDDI総研)</p>	<p>2G05 非科学技術領域からのイノベーション支援:その役割と展望 ○西川洋行(県立広島大)</p>	<p>2H05 我が国における拠点形成事業の現状と今後の展開 ○松尾敬子, 佐藤 靖, 有本建男(JST)</p>	<p>2I05 先進医療におけるレギュラトリーパスの選択に関する研究—癌細胞免疫療法を事例として— ○永倉千紗, 加納信吾(東大)</p>	<p>2J05 研究開発投資と技術の多角化—収益性や企業価値との関連性— ○山口智弘(ニッセイアセットマネジメント/東工大)</p>
10:45		<p>2B06 大阪の工業教育の変遷—近現代史の立場から— ○小池正夫, 碓井建夫(阪大)</p>			<p>2E06 Un-captured GDP:イノベーション通念の刷新—フィンランド科学アカデミーの挑戦— ○渡辺千俣(ユヴァスキュラ大)</p>	<p>2F06 ブロードバンドの普及過程におけるカニバリズムに関する一考察 ○篠原聡兵衛(東大/KDDI総研)</p>	<p>2G06 東北大学学際科学フロンティア研究所における人文・社会科学と自然科学の連携支援活動の現状と将来展望 ○藤村維子, 才田淳治, 鈴木一行, 佐藤正明(東北大)</p>	<p>2H06 石油減耗とエネルギー資源のシナリオ ○弘岡正明(テクノ経済研究所)</p>	<p>2I06 バイオベンチャーのリーマンショック直後のデスバレーにおける研究開発投資の継続について ○藤原孝男(豊橋技科大)</p>	<p>2J06 顧客に向けたリーンなコーポレート研究:日本企業の潜在力評価 ○馬場靖憲, 西岡 潔(東大), 柴田友厚(東北大), 七丈直弘(NISTEP)</p>

11月6日(日) 11:00~11:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:00	<p>特定ホットイシュー続き</p> <p>パネル討論 国主導による研究開発プロジェクトにおいてイノベーションのPDCAサイクルに躍動力を与えるための施策とは</p> <p>モデレータ ○菊池純一(青学大)</p>	<p>2B07 日本型イノベーション・エコシステムを構築する上での問題点とその解決策についての一考察 ○新改敬英(九大), 岩本 隆(慶大)</p>	<p>企画セッション 続き</p>	<p>企画セッション 続き</p>	<p>2E07 討論</p>	<p>2F07 「企業統治不全」の分析フレームワークの提案: シャープ、東芝、三菱自動車の比較研究 ○中田行彦(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2G07 討論</p>	<p>2H07 Exploring “Big data” applications for disaster management: a scientific keyword word co-occurrence ○Santiago Ruiz Navas, Kumiko Miyazaki (TITECH)</p>	<p>2I07 機能性食品の研究開発におけるアイデア創出を促進する因子の探索 ○加藤康介, 伊藤 伸, 板谷和彦(東京農工大)</p>	<p>2J07 日本の特性をベースにしたイノベーションの阻害・促進要因の考察 ○橋本 健(未来工研)</p>
11:15	<p>パネラー ○上野裕子(三菱UFJリサーチ&コンサルティング) ○竹上嗣郎(経産省) ○関根 久(NEDO) ○小林直人(早大)</p>	<p>2B08 『地域科学技術政策支援システム「RESIDENS」』の開発と運用について ○栗山康孝, 永田晃也(九大)</p>			<p>一般講演 科学と社会 座長 奥和田 久美</p>	<p>2F08 国毎の規制の違いによるイノベーションの変化: 電動アシスト自転車の事例 ○江藤 学(一橋大)</p>	<p>一般講演 技術経営(教育・育成) 座長 西川 洋行</p>	<p>2H08 科学技術イノベーション政策に寄与するフォーサイト研究に関する人文社会系の関与とその効果 ○野呂高樹(未来工研)</p>	<p>2I08 食品製造業における技術革新と戦略変化の関係性 ○今橋 裕, 上西啓介(阪大), 玄場公規(法政大)</p>	<p>2J08 日系多国籍企業におけるリバーシノベーションの可能性について ○安田英土(江戸川大)</p>
11:30		<p>2B09 討論</p>			<p>2E09 科学的助言の概念の歴史的背景 ○佐藤 靖, 松尾敬子, 有本建男(JST)</p>	<p>2F09 コンソーシアムを介した中小企業の異業種参入とイノベーション ○加藤尚吾, 仙石慎太郎(東工大/BioL), 青山朋樹(京大/BioL)</p>	<p>2G09 薬剤師アンケート調査による薬局機能の高度化への含意 ○伊藤裕子(NISTEP)</p>	<p>2H09 第5期科学技術基本計画に見る科学技術情報第1期~第4期との相違点と課題 ○前田知子(政研大)</p>	<p>2I09 中国新エネルギー自動車普及のための阻害要因分析 ○石 豊, 鈴木浩(日本経済大)</p>	<p>2J09 製造業中小企業の新製品開発の好機認識と学習組織 ○大谷隆児, 名取 隆, 崔 裕真(立命館大)</p>

11:45

11月6日(日) 11:45～12:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:45	特定ホットイ シュー続き			企画セッション 続き	2E10 科学的助言の概 念の構造 ○佐藤 靖, 松 尾敬子, 有本建 男 (JST)	2F10 ナショナルプロ ジェクトからの インフラ輸出拡 大に向けたプロ ジェクトマネジ メント技術に関 する一考察— NEDOの水処理プ ラント国際実証 事業の分析から — ○藤井大地, 石 井紳一, 佐藤浩 之 (NEDO)	2G10 ミサイルのイノ ベーションはな ぜ起きたか ○河内 恵 (一 橋大)	2H10 科学技術の newly 動きの把握に 向けた諸外国の 試み ○横尾淑子, 赤 池伸一 (NISTEP)	2I10 「VHS VTRの研究 開発・事業化」 における人本主 義的イノベー ションマネジメ ント ○志賀敏宏 (多 摩大)	2J10 技術経営・イノ ベーション研究 を深めるための 企業への効果的 なアンケート調 査アプローチに 関する考察 ○板谷和彦 (東 京農工大)
12:00					2E11 科学的助言の役 割 ○松尾敬子, 佐 藤 靖, 有本建 男 (JST)		2G11 自治体による中 小企業の新規事 業支援政策の研 究—「大阪トッ プランナー育成 事業」を対象と して— ○名取 隆 (立 命館大)	2H11 科学技術イノ ベーション政策 におけるエビデ ンスベースの政 策形成：現状と 課題 ○赤池伸一 (NISTEP/内閣 府)		
12:15										
12:30										

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
	一般講演 〈特定ホット 이슈〉 イノベーションの PDCA②	一般講演 国際(競争と協調)	一般講演 〈ホット 이슈〉 群衆(Crowd)時代の イノベーション		一般講演 イノベーション・起業	一般講演 技術経営(事例・ビジ ネスモデル・事業化) ②	一般講演 分析と評価②	一般講演 研究・イノベーション 政策③	一般講演 技術経営(戦略・R&D マネジメント)④	一般講演 技術経営(戦略・R&D マネジメント)⑤
	座長 菊池 純一	座長 遠藤 悟	座長 板谷 和彦		座長 林 聖子	座長 加藤 浩	座長 小林直人	座長 江藤 学	座長 藤原孝男	座長 玄場公規
13:00	2A15 R&D組織における プロジェクトマ ネジメントの PDCAサイクルと Redesign ○吉田朋央, 一 色俊之, 鍛冶日 奈子, 竹下 満 (NEDO)	2B15 オーストラリア と日本の科学技 術における協力 ○富田英美 (JST)	2C15 地方創生に貢献 する新たなイノ ベーション推進 モデル CDI (Community Driven Innovation) の 考察 ○大津留榮佐久 (OSTi)		2E15 研究開発型大学 等発ベンチャー の特徴解析、お よび更新可能な データベースの 構築 ○新村和久, 犬 塚隆志 (NISTEP)	2F15 グローバル・ ニッチトップ企 業から大企業へ の成長メカニズ ムの解明—日独 企業の比較研究 から— ○難波正憲, 福 谷正信, 牧田正 裕, 藤本武士 (立命館アジア 太平洋大)	2G15 実質的なプログ ラム化に向けた RISTEX評価の取 り組み ○安藤二香 (JST)	2H15 世界のオープン サイエンス政策 の進展と日本の 取組 ○林 和弘 (NISTEP), 村 山泰啓(情報通 信研究機構)	2I15 研究開発プロ ジェクトの実用 化実績向上に資 するリスクマネ ジメントの試行 的実施 ○須永吉彦, 高 津佐功助, 弓取 修二(NEDO)	2J15 食料品製造業に おける知的財産 と企業パフォー マンス ○宮ノ下智史 (東京農大), 吉岡(小林)徹 (東大), 金間 大介(東京農 大)
13:15	2A16 NEDO知財マネジ メント基本方針 適用事例につい ての報告 ○中原麻希, 貞 光大樹, 鈴木俊 吾(NEDO)	2B16 共同研究創成の 新たな国際的枠 組み—大阪大学 における試み— ○伊藤京子, 高 野 誠, 池田雅 夫(阪大)	2C16 「クラウドイノ ベーション」に よる起業支援 サービスの出現 ○中田行彦(立 命館アジア太平 洋大)		2E16 発明大賞受賞の 中小製造企業の 共通項分析 ○呉 輝強, 櫻 井敬三(日本経 済大)	2F16 農業における6 次産業化マネジ メントの分析— 新潟県・農業組 織の事例— ○鈴木孝一, 鈴 木信貴(長岡技 術科学大)	2G16 科学技術イノ ベーション政策 立案のための データプラット フォーム—投資 と成果のデータ 対応調査— ○原田裕明 (JST), 池内健 太, 原 泰史, 黄 俊揚(政研 大), 黒田昌裕 (JST)	2H16 米国のネット ワーク中立性議 論—インター ネット政策及び 情報通信イノ ベーションに与 える影響— ○寺田真一郎 (カリフォルニ ア大)	2I16 NEDOのPM制度下 における「次世 代人工知能・ロ ボット中核技術 開発」のマネジ メント ○石倉 峻, 松 本 崇, 服部祐 人, 吉野 順, 関根 久 (NEDO)	2J16 Exploring R&D network of collaboration from functional food patent applications ○Paveena Lalitorasate, Kumiko Miyazaki (TITECH)
13:30	2A17 ブレークスルー を起こす研究開 発マネジメント についての—考 察 ○竹下 満, 吉 田朋央(NEDO)	2B17 エネルギー分野 の国際事業にお けるMOUの役割に 関する考察 ○田畑愛梨 (NEDO)	2C17 学術系クラウド ファンディング におけるリワー ドの役割 ○網中裕一(一 橋大)		2E17 女性起業家はイ ノベーションを 先導できるか— 宮城県、並び に、仙台市の取 り組み— ○渡部順一(宮 城学院女子 大), 薄葉祐子 (鶴岡工業高 専)	2F17 伝統食品におけ るイノベーション 活動と主導権 争い: 豆腐産業 の事例 ○金間大介(東 京農大), 貴戸 武利(中田食 品)	2G17 ジャーナルに注 目した主要国の 論文発表の特徴 —オープンアク セス、出版国、 使用言語の分析 — ○福澤尚美 (NISTEP)	2H17 ネットワーク中 立性の日米比較 —インターネット のレギュレー ションが、情報 通信イノベー ションに与える 影響— ○寺田真一郎 (カリフォルニ ア大)	2I17 グローバル研究 開発におけるブ リッジマネ ジャーの役割 ○内平直志(北 陸先端大), Srigowtham Arunagiri(イン ド理科大), Nawarerk Chalarak(北陸 先端大)	2J17 ウェアラブルコ ンピュータ分野 におけるメーカ の特許出願傾向 とユーザ評価の 関係性分析 ○古賀恭平, 宮 脇啓透(日鉄住 金総研)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
13:45	2A18 民間R&Dに対する 公的支援の効果 ○松嶋一成(徳 島大), 青島矢 一, 高田直樹 (一橋大)	2B18 日本企業におけ る英語公用語化 とその影響 ○氏家佐江子 (SBFコンサル ティング)	2C18 マルチステーク ホルダ参加型共 創に関する研究 —Living Labを ケースとして— ○西尾好司(富 士通総研)	JWSE企画セッション ② 「明日を支える女性 エンジニア・研究 者」 司会 土屋 秀雄 パネル討論 ○小林淑恵 (NISTEP) ○萩谷美也子 (サイエンス・ ライター) ○藤原綾乃 (NISTEP) ○吉井洋子(耐 火物技術協会)	2E18 起業家のアイデ ンティティ変容 とビジョン形成 過程の考察 ○隅本雅友(横 国大)	2F18 遺伝子解析によ る個別化医療実 現のためのプ ラットフォーム 開発 ○村上 聡 (Thermo Fisher Scientific Inc. Life Technologies Japan/東工 大), 宮崎久美 子(東工大)	2G18 サイエンスマッ プ2014 ○伊神正貴, 福 澤尚美, 村上昭 義, 阪 彩香 (NISTEP)	2H18 日本の科学技術 政策と東アジア への傾倒—諸外 国のグローバル 化 vs 日本の東 アジア化 ○新井聖子(ウ ブサラ大/政研 大)	2I18 分野横断的な ネットワーク分 析による研究機 関評価 ○田中和哉(東 大/政研大), 坂田一郎(東 大)	2J18 ユーザ・イノ ベーションにお けるデザイン思 考の重要性 ○今 智司(今 知的財産事務 所)
14:00	2A19 PDCAサイクル駆 動に向けた産学 連携プログラ ムの可視化と改善 —A-STEP制度改 革からの一考察 — ○中神雄一, 福 田佳也乃(JST)	2B19 科学技術予測の 深化とグロー バル展開—ホラ イズン・スキャン への挑戦と国際 連携の拡大 ○斎藤尚樹, 横 尾淑子, 浦島邦 子, 林 和弘, 栗林 美紀 (NISTEP)	2C19 科学技術の公的 資金配分機関の 課題発見および 解決に共創的 ワークショップ が役に立つ— 社会技術研究開 発センター (JST・RISTEX) の試み— ○王 戈, 長島 洋介(JST)	コメンテーター ○鳥井弘之(元 日経) 挨拶 ○永野 博(本学 会会長)	2E19 Study on Survival of Supply Chain Startups in Indonesia using FinTech: Based on Real Options Analysis ○Fistyan Ikhsan Wibowo, 藤原孝男(豊橋 技科大)	2F19 技術成果創出プ ロセスに関する 研究—医薬基 礎研究者のサー ベイデータによ る実証分析— ○小久保欣哉 (野村総研)	2G19 科学技術指標 2016から見た日 本 ○神田由美子, 伊神正貴, 村上 昭義, 福澤尚美 (NISTEP)	2H19 日本から東アジ アへのknowledge spilloverと日本 企業の国際競争 力の低下 ○新井聖子(ウ ブサラ大/政研 大)	2I19 IT活用と企業の 持続的競争優位 性の関係に關 する実証研究 ○安田弘一(名 商大), 伊佐田 文彦(関西大)	2J19 所属組織による デザイナーの取 得意匠権の比較 分析 ○勝本雅和, 津 田井克也(京都 工芸繊維大)
14:15	2A20 「本格研究」か ら「橋渡し研 究」へ:イノ ベーション創出 のPDCA ○中村 修(産 総研)	2B20 欧州における データ連結・拡 張によるデータ インフラとエビ デンスに基づく 政策への適用 ○林 信濃, 中 川尚志, 原田裕 明, 松尾敬子 (JST)	2C20 ハッカソンとア イデアソンと地 域課題解決—福 島県浪江町「タ ブレットを利用 したきずな再 生・強化事業」 の事例を通じて — ○白川展之 (コード・ フォー・ジャパ ン)	2E20 Applying Real Options Approach Method to SMEs Financing: A Case Study of Smart House Company in Indonesia ○Ida Sri Wardani, 藤原孝 男(豊橋技科 大)	2F20 イノベーション の実現に影響を 及ぼす要因:日 本の医療関連企 業の事例から ○隅藏康一(政 研大/古澤 陽子(東大/ NISTEP), 枝村 一磨 (NISTEP), 小 沼良直, 今村 努, 林 隆臣 (未来工研)	2G20 ライフサイエン ス・臨床医学分 野の科学技術イ ノベーション施 策に関する傾向 分析 ○矢倉信之, 中 村亮二, 辻 真 博(JST)	2H20 日本の政策と日 本企業連合の国 際的孤立化— 「All Japan」で よいのか? ○新井聖子(ウ ブサラ大/政研 大)	2I20 デジタル経済 下の製造業のイ ノベーション活 性ダイナミズム の実証分析—自 動車技術とICT共 進ダイナミズム の内生化 ○中川正広(東 京都市大), 渡 辺千似(日本Xセ ンターフォーラ ム/ユヴァス キュラ大)	2J20 Patent, Secrecy and Firm Performance: Evidence from Japan ○西村陽一郎 (神奈川大), 大西宏一郎(大 阪工大) , 山内 勇 (明治学院大)	

11月6日(日) 14:30～15:30

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
14:30	2A21 自立するコア ファシリティを めざす公的研究 開発機関におけ る研究支援施設 —NMR (核磁気共 鳴) 施設につい ての事例研究— ○小野田敬, 伊 藤泰信 (北陸先 端大)	2B21 オランダの科学 技術・イノベー ション力 ○津田憂子 (JST)	2C21 討論	企画セッション 続き					2I21 デジタルカメラ 企業の事業の多 角化の一考察 ○今野健一 (SKN コンサルティング)	2J21 特許データを用 いた研究開発生 産性に対する研 究開発組織構造 の効果分析 ○津田井克也, 勝本雅和 (京都 工芸繊維大)
					一般講演 知的財産	一般講演 産官学連携・地域②				
					座長 新村和久	座長 難波 正憲				
14:45	2A22 討論	2B22 レジリエンシー 分野に見る国際 標準形成プロセ ス ○中島一郎 (早 大)			2E22 食品産業による 農産物新品種の 導入に関する実 証分析 ○野津 喬 (実 践女子大)	2F22 大阪大学におけ る共同研究講座 制度10年の成果 と今後の展望 ○田中敏嗣, 吉 川秀樹 (阪大)			2I22 大転換期の技術 経営—写真フィ ルム業界の戦略 事例— ○増田圭一郎 (芝浦工大/帝 人), 田中秀穂 (芝浦工大)	2J22 中国における特 許出願活動の動 向分析 ○姜 娟 (未来 工研)
15:00					2E23 新特許異議申立 制度の傾向と分 析 ○正井純子	2F23 大阪大学産学連 携制度10年の歩 み—Hitz (バイ オ)協働研究所の 取組と課題— ○中澤慶久 (阪 大/日立造 船), 田中敏嗣 (阪大), 後藤 芳一 (東大)			2I23 日系多国籍企業 におけるR&D知識 移転の媒体 ○村上由紀子 (早大)	
15:15					2E24 医薬品と食品の 特許管理の比較 研究 ○加藤 浩 (日 大)	2F24 地域産業からみ た水素社会の展 望 ○常定 健, 児 子英之, 永山則 之 (岡山県工業 技術センター)				

15:30

11月6日(日) 15:30~15:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
15:30						2F25 自然災害における地域防災力と企業の関係 ○小野高宏(一橋大/三菱商事インシュアランス)				
15:45										

第 31 回年次学術大会実行委員会

委員長	菊池 純一	青山学院大学法学部
副委員長	大内 紀知	青山学院大学理工学部
委員	一色 俊之	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	川上 正隆	青山学院大学大学院法学研究科
	今 智司	今知的財産事務機所
	竹田由美子	青山学院大学学生課
	中邨 良樹	青山学院大学経営学部

第 31 回年次学術大会 講演要旨集 CD-ROM

8,000 円

2016 年 11 月 5 日 発行

編集 研究・イノベーション学会
第 31 回年次学術大会実行委員会
発行 〒135-8473 東京都江東区深川 2-6-11
富岡橋ビル 4 階
公益財団法人未来工学研究所 気付
研究・イノベーション学会 永野 博
TEL/FAX: 03-5620-0577
郵便振替口座 00160-4-70197
銀行振込口座 三井住友銀行渋谷駅前支店
普通 0206284

CD 制作 レタープレス株式会社

本要旨集の内容の一部あるいは全部を無断で複製すると、
著作権および出版権侵害となることがありますのでご注意
ください。